

2013 REPORT

千葉興業銀行レポート

ミニ・ディスクロージャー誌

第92期 営業の中間ご報告

平成25年4月1日～平成25年9月30日

目次

ごあいさつ・企業理念	2
経営方針	3
営業の概況	4
地域コーナー	
・お取引の状況	9
・CSRの取組み	11
トピックス	17
財務諸表	19
役員・株式の状況	21

当行の概要 (平成25年9月30日現在)

設 立：昭和27年1月
本 店：千葉市美浜区幸町二丁目1番2号
資 本 金：579億4,189万3,949円
従業員数：1,280名



[ちば興銀は、
次世代認定マークを取得しています。]

ごあいさつ



平素より、千葉興業銀行をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。

平成25年度中間期の当行の経営内容や業績、CSRの取組み等につきまして、ミニ・ディスクロージャー誌にまとめました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、最近の県内経済は、経済対策効果などを背景とした緩やかな持ち直しの動きが見られ、今後の本格的な回復が期待されるところであります。当行は、千葉県経済の力強い回復に向けて、地域金融機関としての責務を果たすべくさまざまな取組みを行ってまいります。

現在当行は、平成25-27年度の新中期経営計画「変革・成長戦略“2nd Stage”」に基づく戦略施策を積極的に展開しております。「地域のお客さまのベスト・コンサルタント」となるべく、さらには「選ばれ続け、地域・お客さまになくしてはならない絶対的存在感のある銀行」をめざし、当行グループの総力を結集して業務に邁進していく所存です。

今後とも、より一層のご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成25年11月

取締役頭取・CEO **青柳俊一**

企業理念

地域とともに

私たちは、地域とともに歩む銀行として、人々の幸せを求めて、豊かなふるさとづくりに努めます。

お客さまのために

私たちは、積極的にお客さまのニーズに応え、創造性を発揮し、より質の高いサービスの提供に努めます。

「親切」の心で

私たちは、心のふれあいを大切にし、自己を磨き、親切ナンバーワンをめざします。



経営方針

経営方針

平成25-27年度の3年間において、中期経営計画「変革・成長戦略“2nd Stage”」を展開しております。前中期経営計画に基づく取組みを礎とし、当行のビジョン実現に向けた「挑戦」と「攻め」のステージと位置づけ、「地域のお客さまのベスト・コンサルタント」の実現に向けた取組みを行っております。

今後も地域・お客さまのお役に立ち、ともに成長を持続していくための強固な経営基盤の構築と新たな「ちば興銀」の確立を目標として、全行一丸となり取組んでまいります。

企業理念 地域とともに お客さまのために 「親切」の心で

選ばれ続け、地域・お客さまになくてはならない 絶対的存在感のある銀行

地域の お客さまの ベスト・コンサルタント

平成25-27年度「変革・成長戦略“2nd Stage”」

“コア顧客を支柱とした顧客基盤の再構築”

効率性・生産性革新

- 営業店BPRによる営業活動の効率性・生産性の向上
- システム化推進による業務改善と省力化推進
- 営業支援システム・ツールの充実
- 行内分散情報の連動・整備と資産化

収益力・収益構造革新

- 顧客ニーズ基点の営業態勢
- 全行連携での充実したコンサルティング機能の発揮
- 法個人一体取引の推進
- 個人営業強化体制の展開
- マーケット・シェアの拡大

組織力・人材革新

- コンサルティング能力の高い人材の育成・養成
- 人材ポートフォリオの再構築
- 人事諸制度・雇用制度見直し
- 「考え行動する」「挑戦する」人材・組織への転換
- 地域活性化・CSRへの取組み

財務基盤の強化 リスク・マネジメント強化

平成23-24年度「ちば興銀“変革・成長”戦略」

顧客ロイヤルティ向上



営業の概況

グラフ等に記載の計数および解説文中の計数は単位未満切捨て表示となっております。

預金・貸出金の状況 ～預金・貸出金は順調に推移～

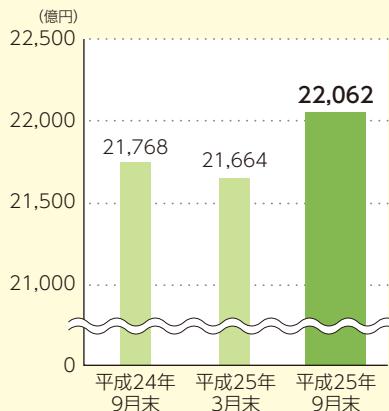
総預金の当中間期末残高は、前年同期比293億円増加し2兆2,062億円となりました。個人預金については、「マリーズ応援団定期2013」等がご好評をいただき、前年同期比278億円増加し1兆7,329億円となりました。

投資信託販売は市場環境の好転もあり堅調に推移いたしました。単位型投資信託償還の影響等により、投資信託の預り資産残高は、前年同期比36億円減少し、945億円となりました。

当中間期末の貸出金残高は、コンサルティング機能の強化に努め、地域のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えした結果、前年同期比406億円増加し1兆6,906億円となりました。住宅ローンについては、住宅販売会社との連携強化等により、前年同月比432億円増加し5,729億円となりました。

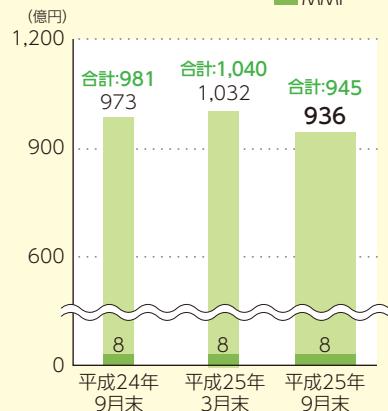
総預金残高

※総預金残高には譲渡性預金を含めております。

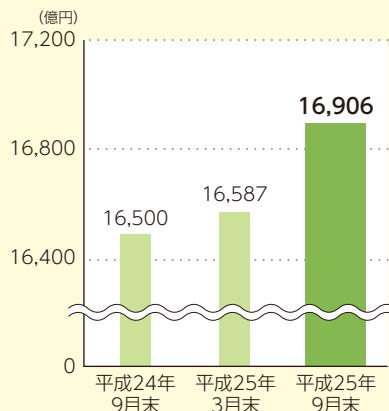


投資信託残高

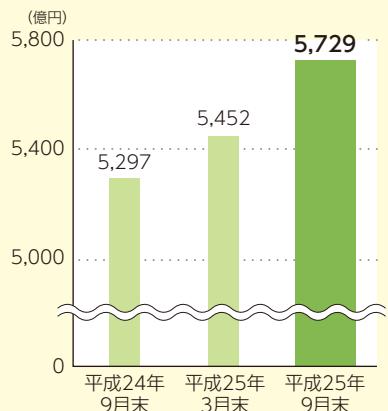
■ 株式投信
■ MMF



総貸出金残高



住宅ローン残高





損益の状況

貸出金利回りの低下等により預貸金利鞘の縮小傾向が続くなか、資金利益は前年同期比1億円の減少となりました。一方で、投資信託や保険商品の販売増加等により、役務取引等利益が前年同期比4億円の増加となったこと等により、業務粗利益は前年同期比3億円の増加となりました。経費は、物件費の増加等により、前年同期比1億円の増加となりました。この結果、業務純益(一般貸倒引当金繰入前)は前年同期比2億47百万円増加し、61億9百万円となりました。業務純益(一般貸倒引当金繰入前)から国債等債券関係損益を除いたコア業務純益(*)は、前年同期比1億7百万円増加し56億27百万円となりました。

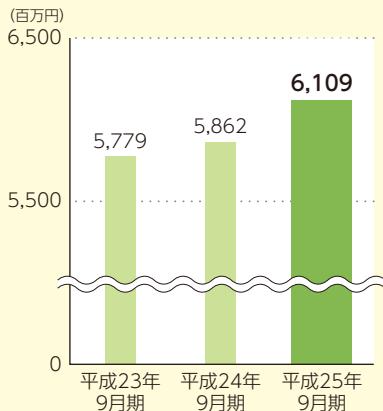
一方、経常利益は、与信関係費用の増加等により、前年同期比3億4百万円減少し52億30百万円となりました。

中間純利益は、法人税等9億円を計上し、前年同期比6億31百万円減少し41億71百万円となりました。

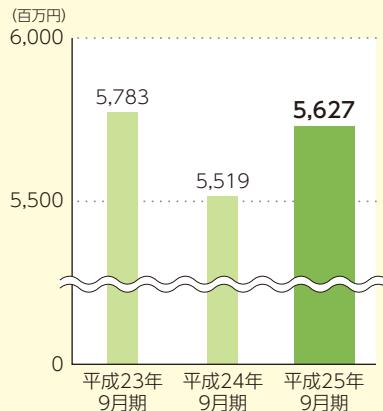
※コア業務純益

業務純益から一般貸倒引当金繰入額、国債等債券関係損益を除いて算出しております。

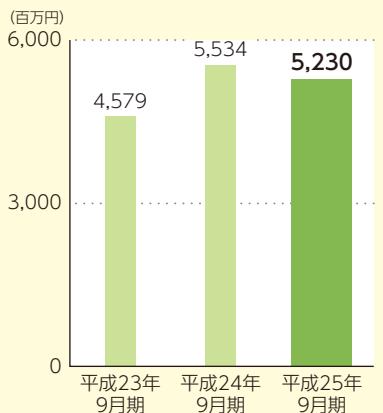
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)



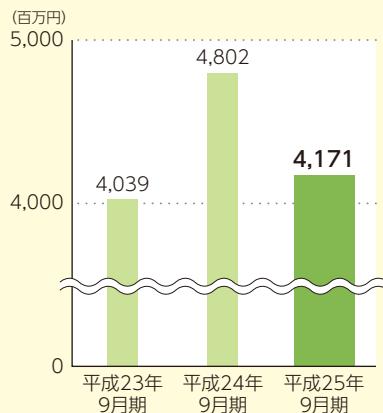
コア業務純益



経常利益



中間純利益

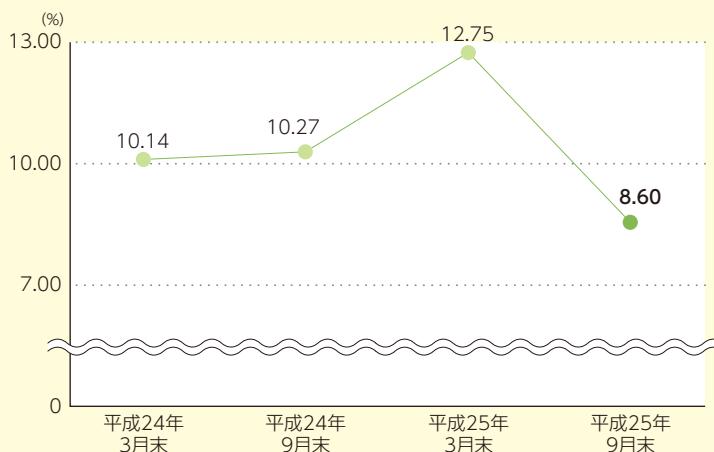


自己資本比率等

長年の経営課題であった公的資金返済のため、平成25年7月4日、第三回第三種優先株式(公的優先株式602億26百万円)を自己株式として取得、資本剰余金を原資に消却を実施いたしました。この結果、中間純利益41億円の計上により利益剰余金は増加いたしました。平成25年9月末の自己資本比率は、平成25年3月末比4.15ポイント低下し8.60%となりました。

経営の効率性を示す経営指標であるコアOHR(※1)は、業務粗利益(除く国債等債券関係損益)の増加により68.76%と前年同期比0.15ポイント低下しました。また、収益性の高さを示すROA(※2)は、前年同期と同水準の0.47%となりました。

自己資本比率



自己資本比率算定明細表

(単位:%・百万円)

	平成25年3月末	平成25年9月末
1.自己資本比率	12.75	8.60
2.基本的項目	166,613	110,572
3.補完的項目	7,430	8,525
(イ)うち自己資本に計上された再評価差額	—	—
(ロ)うち劣後ローン(債券)残高	5,000	5,000
4.控除項目	190	189
5.自己資本 2+3-4	173,853	118,908
6.リスクアセット	1,363,446	1,381,270
うちオン・バランス	1,273,890	1,292,154
うちオフ・バランス	21,421	20,862
うちオペレーショナルリスク	68,134	68,253

※1 コアOHR

(経費対コア業務粗利益率=経費÷コア業務粗利益(除く国債等債券関係損益)×100)

一定の業務粗利益を得るために、どの程度経費がかかっているかを表す指標で、値が小さいほど経営の「効率」の高さを示しています。

※2 ROA《コア業務純益ベース》

(総資産利益率=コア業務純益÷総資産期中平残(除く支払承諾見返)×100)

投下された総資産が利益(コア業務純益)を得るために、どの程度効率的に利用されているかを表す指標で、値が大きいほど経営の「収益性」の高さを示しています。



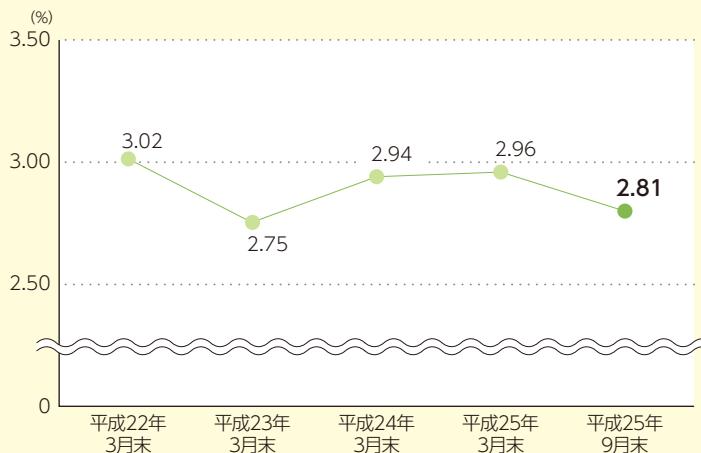
経営改善支援の取組み等

全営業店に「ご返済相談窓口」を設置し、またローンプラザ等で休日相談にお応えするなど、お取引先の資金繰り下支えに努めてまいりました。また、お取引先企業における経営課題の把握・分析を踏まえ、適時に最適なソリューションを提案する等、コンサルティング機能の発揮により、経営改善計画策定・事業再生支援に積極的に取り組んでまいりました。

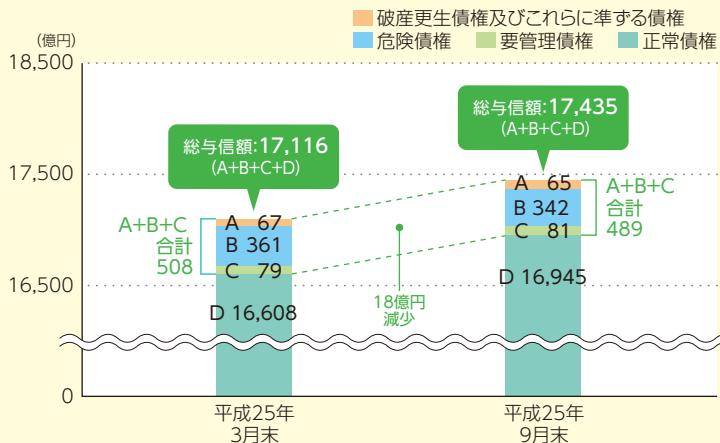
その結果、平成25年9月末の正常債権を除いた金融再生法における「開示債権額」は、平成25年3月末比18億円減少し489億円となりました。総与信に占める割合（開示債権比率）は、平成25年3月末比0.15ポイント低下し2.81%となりました。

今後も、経営コンサルティング会社等外部専門機関の活用も含め、お取引先企業に対する経営アドバイス、経営改善計画策定支援への取組みを強化してまいります。

金融再生法に基づく開示債権比率



金融再生法に基づく開示債権額比較



格付け

当行は、中立的な第三者による評価を取得し公表することで、投資家の皆さまやお取引先の皆さまに財務内容の健全性や収益性などについてご理解いただくため、平成18年10月に株式会社日本格付研究所(JCR)から長期発行体格付^(※)を取得し公表しております。

格付け [BBB+(トリプルBプラス)]^[据え置き]

格付け見通し [安定的]^[据え置き]

(格付けの公表:平成25年8月28日)

※長期発行体格付:債務者(発行体)の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。

利益配分に関する基本方針

当行は、銀行業としての公共性に鑑み、健全経営を確保するため内部留保の充実を図るとともに、安定的な配当に努めていくことを基本方針としております。

優先株式の配当 当中間期の優先株式の配当につきましては、5月10日に公表のとおり、本年度末に一括配当とさせていただきます。

普通株式の配当 当中間期の普通株式の配当につきましては、見送らせていただくことといたしました。

株主優待制度

日頃のご支援に感謝の意をこめて、ご優待制度の拡充に努めております。平成25年3月31日現在で千葉興業銀行の株式を100株以上所有されている個人・法人の株主さまを対象に「株主優待定期預金」の制度を引続きお取り扱いしております(平成25年7月1日～平成26年3月31日)。従来の株主優待制度である「さわやかハロー24」^(※)ともども、ご利用いただけますようお願い申し上げます。

※「さわやかハロー24」

当行の株主さまに無料で、健康や医療に関するご相談をベテランの医師などが電話でお受けするサービスです。健康・医療相談のほか、夜間・休日診療の医療機関ご案内、医療機関情報のご提供、介護などシルバー情報のご提供についてご利用いただけます。



地域コーナー

地域のお客さまとのお取引の状況

当行では預金の大半を地域のお客さまからお預かりしております。

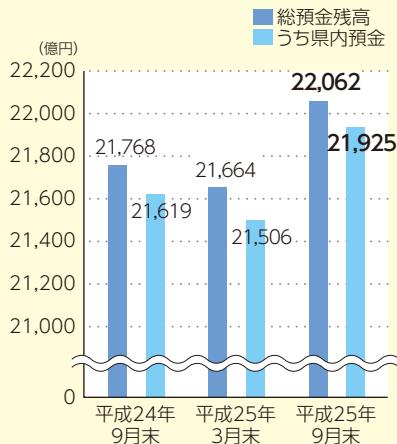
そしてこの大切な預金を県内の企業や個人のお客さまへの貸出しに向けております。

また、平成25年9月末の県内保証協会保証付貸出金は、11,114件の1,402億円となっております。

(注) 当行は主要な営業地域を千葉県内としておりますので、千葉県内の営業店舗の合計計数を「県内」計数として表示しております。

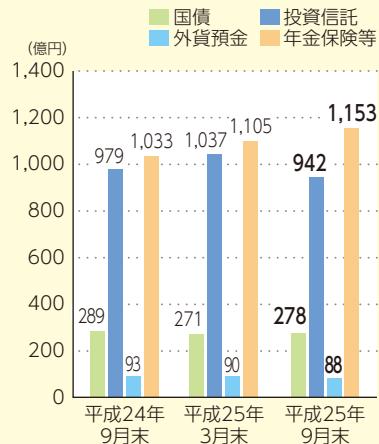
預金残高等

※預金残高には譲渡性預金を含めております。



預り資産残高

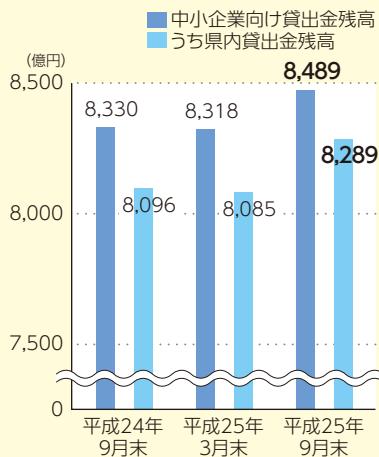
平成25年9月末の預り資産の大半が県内での預り資産です。



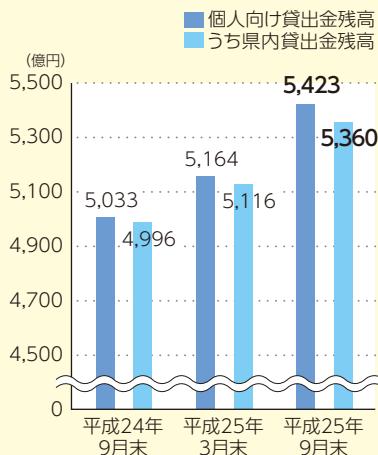
貸出金残高等



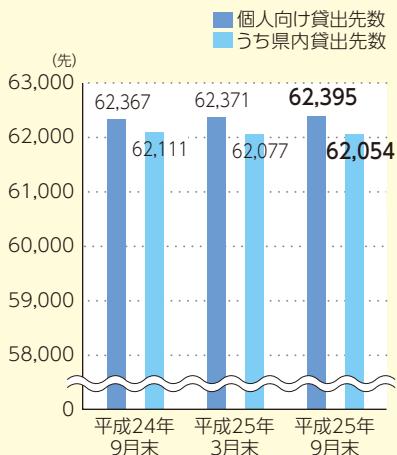
中小企業向け貸出金残高



個人向け貸出金残高等



個人向け貸出先数等



給与振込・年金振込の口座数

給与振込や年金振込などについても、多くのお客さまのご利用をいただいております。



業種別貸出金残高

当行は、それぞれの業種において、資金供給者として重要な役割を担っています。

(単位:億円)

業種	平成25年9月末	
	貸出金残高	うち県内向け
製造業	1,666	1,638
農業、林業	51	51
漁業	1	1
鉱業、採石業、砂利採取業	27	27
建設業	812	810
電気・ガス・熱供給・水道業	66	66
情報通信業	55	54
運輸業、郵便業	663	658
卸売業、小売業	1,692	1,663
金融業、保険業	683	682
不動産業、物品賃貸業	3,793	3,658
各種サービス業	1,704	1,694
地方公共団体	265	265
その他	5,423	5,360
合計	16,906	16,632



当行の経営理念である「地域とともに」「お客さまのために」「『親切』の心で」の実現に向け、地域社会の活性化と持続可能性を高めるための活動を行っております。

地域活性化に向けた取組み

北海道銀行とコラボレーション 「マリーンズ vs ファイターズ戦」にてご当地アピール！

北海道銀行と協力し、両行が応援する地元球団(千葉ロッテマリーンズ・北海道日本ハムファイターズ)における冠試合にて、対戦相手の地元の魅力をアピールするイベントを行いました。地域に根ざす地元金融機関として、各地域を盛り上げていくための企業活動のひとつとして実施したものです。

札幌ドームにて「千葉県物産展」を開催

平成25年8月9日

札幌ドーム球場で行われた、千葉ロッテマリーンズ・北海道日本ハムファイターズ戦「北海道銀行スペシャルデー」において千葉県の物産販売や観光PRを行いました。

当日は、お取引先企業の協力を得て、落花生や枇杷など、千葉県産の食材を活かした人気商品を北海道の皆さまに紹介いたしました。また、千葉県とも連携し、観光パンフレットの配布や森田健作千葉県知事のビデオメッセージ放映など、来場者の皆さまへ千葉の魅力を直接発信いたしました。



「ちば興銀スペシャルナイター」を開催

平成25年9月1日

毎年実施しているマッチデーにおいて、お取引先企業の協力を得て、北海道物産の紹介や観光PR等を行いました。

また、ちば興銀ブースにて、観戦チケットや特製のマリーンズコラボレーションタオルなどが当たる、ガラポン抽選会を先着1,500名さまに行ったほか、ラッキーナンバーチラシの配布や、千葉県のマスコットキャラクター・チーバくんと千葉ロッテマリーンズのキャラクター・マー君が競演するクイズ大会を実施いたしました。北海道・さっぽろテレビ塔のキャラクター・テレビ父さんが参加したフォトセッションなどさまざまなイベントを開催し、多くの方にお楽しみいただきました。

当行は地元金融機関として、今後も千葉ロッテマリーンズを応援するとともに、千葉県の活性化に寄与するための活動を行ってまいります。



「がんばろう千葉」キャンペーンへの取組み ～「がんばろう千葉」応援隊に参加～

千葉県が実施する「がんばろう千葉」キャンペーンおよび「がんばろう千葉」応援隊に賛同し、法人として応援隊に加入しており、千葉県経済の活性化を応援するための活動を行っております。

- 「がんばろう千葉」キャンペーンについては、下記千葉県HPをご参照ください。
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kouhou/miryoku/ganbaro/index.html>





中小企業育成への取組み

「千葉元気印企業大賞」

平成7年度より、フジサンケイビジネスアイ(日本工業新聞社)との共催で、千葉県の活気あふれる中小企業・ベンチャー企業の表彰を通じて地域企業の発展を支援しております。



次世代経営者育成への取組み

ちば興銀「経営塾」

ちば興銀「経営塾」は、地元企業育成支援・後継経営者育成支援の取組みのひとつとして、平成16年9月に設立されました。幅広い視点で経営を捉えていただくための視察会やセミナーを定期的開催しております。これまでに150名を超える塾生に学びの場を提供しており、平成25年5月からは、第5期生が活動を開始しております。

最近の活動状況

25/05	第5期生 開講式
25/06	中期経営計画策定講座 <第1講>
25/07	中期経営計画策定講座 <第2講><第3講>
25/08	中期経営計画策定講座 <第4講><第5講>
25/09	中期経営計画策定講座 <第6講>



次世代育成への取組み

「こども110番のいえ」を全店で展開

犯罪に巻き込まれそうになり助けを求めてきたこどもの保護や110番通報、保護者への連絡を行う「こども110番事業」に参画し、窓口の営業時間内において「こども110番のいえ」としての活動を行っております。当行オリジナルステッカーを全営業店入口に貼付し、地域と一体でこどもたちの安全を守るための活動を展開しております。



夏休み体験隊「サマーキッズスクール2013」の開催

県内小学5・6年生を対象に毎年実施している金融教育・しごと体験イベントで、7年連続で開催しております。千葉商科大学大学院教授、伊藤宏一先生を講師として、「お金って何?」をテーマに、お金の意味や使い道などについて学習していただくとともに、マリーンズ戦のプログラムを販売する「働く」体験をすることで、大切なお金に関する理解を深めていただきます。



環境への取組み

「緑のカーテン運動」の展開

地域の皆さまとともに、環境にやさしい街づくりをめざす「緑のカーテン運動」のモデル実習として、パッションフルーツの栽培を行っております（平成25年度上期3か店）。

今後は地域の皆さまと一緒に、運動を展開していく予定です。

※「緑のカーテン運動」：光合成によるCO₂の吸収を図るとともに、夏の強い日差しを遮り、空調負荷の低減をめざす壁面緑化活動です。



環境美化活動の実施

例年、春の県下一斉ゴミゼロ運動に行員・スタッフおよびその家族がボランティア参加しております（全部室店参加総数1,049名）。また、国道14号・357号沿線の12企業・団体に組織される「国道をきれいにする会」に参加し、毎月沿道の清掃を実施するほか、各地域の環境美化活動にも積極的に参加しております。





文化・スポーツ活動

「コスモスコンサート」の開催

毎年6月、「千葉県民の日」を祝い、地元の皆さまにクラシック音楽に親しんでいただけるよう、千葉駅前広場にて、県立千葉女子高等学校オーケストラ部によるミニコンサートを20年連続で開催しております。



「ちば興銀コスモスセミナー」の開催

「千葉県に関する知識・情報をお客さまと共有する」をコンセプトに、無料公開講座を毎年開催し、ご好評をいただいております。



各種スポーツ大会・文化活動への貢献

当行と千葉県ゲートボール連盟との共催による「千葉興業銀行杯親善ゲートボール大会」を24年連続で開催しております。

平成25年9月開催の大会では、県内ゲートボール愛好家50チーム280名の方にご参加いただきました。

その他、千葉県体育協会や千葉県障がい者スポーツレクリエーション協会、千葉県文化振興財団等への協賛・協力も行っております。



社会奉仕活動

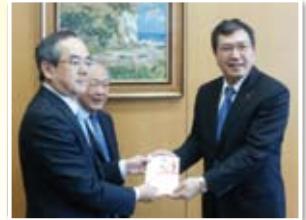
「小さな親切」運動の推進

当行は、33都道府県が参加する全国的組織「小さな親切」運動の千葉県本部として、県内の運動推進に努めております。「小さな親切」を実行した人に贈られる「実行章」は、千葉県内で平成25年度上期（4月～9月）において203名が受章されました（累計311千名以上）。当行行員は全員会員登録しており、各地域でボランティア活動等を実施しております。



「交通安全意識を啓蒙」

当行と千葉日報社が共同で設立した「コスモス交通安全協力会」より、県内新中学1年生へ地域ごとにスポークライト（自転車事故防止用反射板）を毎年贈呈しております（19年間で延べ230,900個）。また、県の交通安全推進委員会が推進する交通安全運動期間に、交通安全リボンを全行員・スタッフが着用し、交通安全意識の啓蒙に努めております。



寄付活動の実施

行員やお客さまから集めた不要衣料品を千葉県民間病院協会会員である柏戸病院と千葉みなと病院へ毎年寄贈しております。また、全店から集めた古切手・使用済テレカ等は、千葉市社会福祉協議会ボランティアセンターへ寄贈しており、車椅子購入やボランティア活動資金として利用されております。



当行役職員による募金活動「ともしびの会」では、毎年年末に県内の養護施設等への浄財を寄付しております（36年間延べ331施設4,079万円）。

献血活動の実施

「日本赤十字社献血サポーター」登録企業として、毎年春・秋の2回、本店の行員・スタッフが多数献血に協力しております。





トピックス

商品・サービスの拡充

首都圏地銀初! 「ちば興銀宝くじサービス」 数字選択式宝くじ「ロト7」の販売を開始

平成25年5月31日

平成14年8月よりお取扱いしている、ATMで「数字選択式宝くじ」が購入できる「ちば興銀宝くじサービス」において、首都圏の地方銀行で初めて、数字選択式宝くじ「ロト7」の販売を開始いたしました。当行本支店および店舗外キャッシュコーナーのATM^(※1)にてご利用ください。

(※1) 当行の普通預金、総合口座、貯蓄預金のキャッシュカードをお持ちの個人のお客さまがご利用いただけます。なお、一部お取扱いできない店舗外キャッシュコーナー・機種がございます。



『チーバくん』を活用した子育て応援事業へ協賛

平成25年6月28日(第2期寄付金贈呈)

子育て支援の一環として、「千葉県安心こども基金」に対し寄付を行いました。当行とメットライフアリコ生命とが共同で行う社会貢献活動であり、半年ごとに両社が、対象商品の販売件数に対して一定金額を寄付しております。

平成24年度から開始した本取組みは、県内金融機関として初めて、「チーバくん」を活用した子育て応援事業への協賛事業として、千葉県からの承認を受けております。



(左から)
メットライフアリコ生命保険株式会社・川島特別顧問、
当行大庭執行役員営業統括部長、
千葉県健康福祉部・伊勢田課長

少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」

口座開設の申込受付開始

および「NISA口座開設キャンペーン」の実施 平成25年7月1日

少額投資非課税制度「NISA(愛称:ニーサ)」(日本版ISA)口座開設の申込受付を開始いたしました。NISA口座開設の受付開始にあわせて、「NISA口座開設キャンペーン」も実施しております。平成25年12月30日までの期間限定で、特別定期預金^(※2)が作成できるなどの特典をご用意しております。

(※2)くわしくは「商品概要説明書」をご覧ください。



期間
延長

当行は、今後も積極的に商品・サービスの拡充に取り組んでまいります。

「エコ(eco)でやさしい店づくり」

新築店舗について、3つのコンセプト(「お客さまにやさしい」・「地域にやさしい」・「環境にやさしい」)に基づき、「エコ(eco)でやさしい店づくり」をテーマとした、これまで以上にご利用いただきやすい店舗づくりをすすめております。

茂原支店・新築移転開店

平成25年8月5日

店舗老朽化に伴い、茂原駅南口の幹線道路沿いに移転開店いたしました。730坪の敷地に41台の駐車場を整備しております。

風力と太陽光の2つのクリーンエネルギーを利用したハイブリット街路灯を設置するとともに、店舗デザインを考慮し、ガラスカーテンウォールの開放感を損なうことなく発電可能な太陽光発電システム(発電量3.11kW)を導入しております。また、空調設備にGHP(ガスエンジンヒートポンプ)を採用し、千葉県産の天然ガスを使用する「千産千消」の取組みも行っております。

当行は今後も、効果的なネットワークの構築をめざし、新店舗や店舗リニューアルの検討を進めてまいります。





財務諸表

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第92期中(平成25年9月30日現在) 中間貸借対照表

(資産の部)		(負債の部)	
科目	金額	科目	金額
現金預け金	60,404	預金	2,203,045
コールローン	50,000	譲渡性預金	3,180
買入金銭債権	1,560	借入金	6,173
商品有価証券	125	外国為替	12
有価証券	511,360	その他負債	15,944
貸出金	1,690,692	未払法人税等	367
外国為替	2,609	リース債務	1,732
その他資産	6,959	その他の負債	13,845
その他の資産	6,959	退職給付引当金	6,262
有形固定資産	20,220	役員退職慰労引当金	99
無形固定資産	2,337	睡眠預金払戻損失引当金	575
繰延税金資産	16,957	支払承諾	17,266
支払承諾見返	17,266	負債の部合計	2,252,558
貸倒引当金	△9,669	(純資産の部)	
資産の部合計	2,370,824	資本金	57,941
		資本剰余金	4,566
		資本準備金	2,792
		その他資本剰余金	1,773
		利益剰余金	48,246
		利益準備金	3,636
		その他利益剰余金	44,610
		繰越利益剰余金	44,610
		自己株式	△65
		株主資本合計	110,689
		その他有価証券評価差額金	7,576
		評価・換算差額等合計	7,576
		純資産の部合計	118,266
		負債及び純資産の部合計	2,370,824

第92期中(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで) 中間損益計算書

(単位:百万円)	
科目	金額
経常収益	22,172
資金運用収益	16,068
(うち貸出金利息)	(12,713)
(うち有価証券利息配当金)	(3,097)
役員取引等収益	4,051
その他業務収益	1,098
その他経常収益	954
経常費用	16,942
資金調達費用	590
(うち預金利息)	(538)
役員取引等費用	1,916
その他業務費用	210
営業経費	12,916
その他経常費用	1,307
経常利益	5,230
特別損失	66
税引前中間純利益	5,163
法人税、住民税及び事業税	266
法人税等調整額	726
法人税等合計	992
中間純利益	4,171

第92期中(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで) 中間株主資本等変動計算書

(単位:百万円)	
科目	金額
株主資本	
資本金	
当期首残高	57,941
当中間期変動額	—
当中間期末残高	57,941
資本剰余金	
資本準備金	
当期首残高	32,792
当中間期変動額	—
繰越利益剰余金の繰越	△30,000
当中間期末残高	△30,000
剰余金の配当	2,792
当中間期末残高	2,792
自己株式の取得	—
当中間期末残高	—
自己株式の消却	△60,226
当中間期末残高	△60,226
当中間期末残高	4,566
利益剰余金	
利益準備金	
当期首残高	3,291
当中間期変動額	—
剰余金の配当	345
当中間期末残高	345
繰越利益剰余金	
当期首残高	42,512
当中間期変動額	—
剰余金の配当	△2,073
当中間期末残高	2,098
繰越利益剰余金の繰越	44,610
当中間期末残高	44,610
利益剰余金合計	45,803
当中間期変動額	—
剰余金の配当	△1,727
当中間期末残高	4,171
当中間期変動額合計	2,443
当中間期末残高	48,246
自己株式	
当期首残高	△64
当中間期変動額	—
自己株式の取得	△60,227
当中間期末残高	60,226
自己株式の消却	—
当中間期末残高	△0
当中間期末残高	△65
株主資本合計	
当期首残高	168,473
当中間期変動額	—
繰越利益剰余金の繰越	—
当中間期末残高	—
剰余金の配当	△1,727
当中間期末残高	4,171
自己株式の取得	△60,227
当中間期末残高	△57,783
当中間期変動額合計	110,689
当中間期末残高	110,689
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
当期首残高	8,274
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	△697
当中間期末残高	△697
当中間期変動額合計	7,576
当中間期末残高	7,576
評価・換算差額等合計	
当期首残高	8,274
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	△697
当中間期末残高	△697
当中間期変動額合計	7,576
当中間期末残高	7,576
純資産合計	
当期首残高	176,747
当中間期変動額	—
繰越利益剰余金の繰越	—
当中間期末残高	—
剰余金の配当	△1,727
当中間期末残高	4,171
自己株式の取得	△60,227
当中間期末残高	—
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	△697
当中間期末残高	△58,481
当中間期変動額合計	118,266
当中間期末残高	118,266

第92期中(平成25年9月30日現在)
中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	60,445	預金	2,194,218
コールローン及び買入手形	50,000	譲渡性預金	3,180
買入金銭債権	1,560	借入金	17,513
商品有価証券	125	外国為替	12
有価証券	511,098	その他負債	20,714
貸出金	1,685,747	退職給付引当金	6,411
外国為替	2,609	役員退職慰労引当金	154
その他資産	27,697	睡眠預金払戻損失引当金	575
有形固定資産	20,209	支払承諾	17,269
無形固定資産	2,867	負債の部合計	2,260,051
繰延税金資産	17,374	(純資産の部)	
支払承諾見返	17,269	資本金	57,941
貸倒引当金	△13,483	資本剰余金	4,566
資産の部合計	2,383,522	利益剰余金	51,459
		自己株式	△65
		株主資本合計	113,902
		その他有価証券評価差額金	7,592
		その他の包括利益累計額合計	7,592
		少数株主持分	1,976
		純資産の部合計	123,471
		負債及び純資産の部合計	2,383,522

第92期中(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)
中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	金額
経常収益	26,164
資金運用収益	15,585
(うち貸出金利息)	(12,727)
(うち有価証券利息配当金)	(2,600)
役員取引等収益	4,452
その他業務収益	1,098
その他経常収益	5,028
経常費用	20,438
資金調達費用	669
(うち預金利息)	(537)
役員取引等費用	1,430
その他業務費用	210
営業経費	12,945
その他経常費用	5,181
経常利益	5,725
特別損失	66
税金等調整前中間純利益	5,658
法人税、住民税及び事業税	526
法人税等調整額	761
法人税等合計	1,287
少数株主損益調整前中間純利益	4,371
少数株主利益	174
中間純利益	4,196

第92期中(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)
中間連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
株主資本		その他の包括利益累計額	
資本金		その他有価証券評価差額金	
当期首残高	57,941	当期首残高	8,289
当中間期変動額	—	当中間期変動額	—
当中間期末残高	57,941	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△697
資本剰余金		当中間期変動額合計	△697
当期首残高	64,792	当中間期末残高	7,592
当中間期変動額	—	その他の包括利益累計額合計	8,289
自己株式の消却	△60,226	当期首残高	8,289
当中間期変動額合計	△60,226	当中間期変動額	—
当中間期末残高	4,566	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△697
利益剰余金		当中間期変動額合計	△697
当期首残高	48,991	当中間期末残高	7,592
当中間期変動額	—	少数株主持分	
剰余金の配当	△1,727	当期首残高	1,790
中間純利益	4,196	当中間期変動額	—
当中間期変動額合計	2,468	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	185
当中間期末残高	51,459	当中間期変動額合計	185
自己株式		当中間期末残高	1,976
当期首残高	△64	純資産合計	181,741
当中間期変動額	—	当期首残高	181,741
自己株式の取得	△60,227	当中間期変動額	—
自己株式の消却	60,226	剰余金の配当	△1,727
当中間期変動額合計	△0	中間純利益	4,196
当中間期末残高	△65	自己株式の取得	△60,227
株主資本合計		自己株式の消却	—
当期首残高	171,661	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△511
当中間期変動額	—	当中間期変動額合計	△58,269
剰余金の配当	△1,727	当中間期末残高	123,471
中間純利益	4,196		
当中間期変動額合計	△60,227		
当中間期末残高	113,902		



役員・株式の状況

役員 (平成25年11月30日現在)

取締役頭取・CEO	青柳	俊一
取締役副頭取・COO	梅村	星児
専務取締役・専務執行役員	星野	智史
常務取締役・常務執行役員	田中	宏
常勤監査役	安田	達央
常勤監査役	田仲	直樹
監査役	原口	秀夫
監査役	鈴木	伸弥

(注) 監査役原口秀夫氏および鈴木伸弥氏は、東京証券取引所有価証券上場規程第436条の2にいう独立役員であります。

株式の状況 (平成25年9月30日現在)

1 株式数

株式の種類	発行可能株式総数	発行済株式の総数
普通株式	296,000千株	50,722千株
第一回第一種優先株式	1,250千株	1,250千株
第二回第二種優先株式	5,000千株	5,000千株
第四回第四種優先株式	7,500千株	6,400千株

2 株主数

普通株式	11,410名
第一回第一種優先株式	1名
第二回第二種優先株式	1名
第四回第四種優先株式	165名

3 大株主

株式の種類	氏名又は名称	持株数 (千株)	持株比率 (%)
普通株式	株式会社みずほ銀行	9,583	18.91
	明治安田生命保険相互会社	1,828	3.60
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,270	2.50
	坂本飼料株式会社	1,249	2.46
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,194	2.35
	株式会社損害保険ジャパン	1,088	2.14
	みずほ信託銀行株式会社	926	1.82
	千葉興業銀行行員持株会	758	1.49
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	645	1.27
	京葉瓦斯株式会社	587	1.16
第一回第一種優先株式	株式会社みずほ銀行	1,250	100.00
第二回第二種優先株式	株式会社みずほ銀行	5,000	100.00
第四回第四種優先株式	沖電気工業株式会社	300	4.68
	大成建設株式会社	300	4.68
	東京建物株式会社	300	4.68
	丸紅株式会社	300	4.68
	キッコーマン株式会社	200	3.12
	明治安田生命保険相互会社	200	3.12
	安田不動産株式会社	200	3.12
	株式会社ヤクルト本社	180	2.81
	株式会社クレックス	160	2.50
	芙蓉総合リース株式会社	160	2.50

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
 3. 普通株式の持株比率は自己株式(56,061株)を控除して、算出しております。

株式のご案内

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 配当受領
株主確定日 期末配当:毎年3月31日
中間配当:毎年9月30日
- 定時株主総会 毎事業年度終了後3か月以内に開催
- 基準日 定時株主総会については、毎年3月31日
その他必要あるときはあらかじめ公告する一定の日
- 単元株式数 100株
- 公告掲載新聞 東京都において発行する日本経済新聞
なお、決算公告につきましては、
当行ホームページの下記アドレスに
掲載いたします。
[http://www.chibakogyo-bank.co.jp/
toushi/ir/koukoku.html](http://www.chibakogyo-bank.co.jp/toushi/ir/koukoku.html)
- 株式事務取扱場所
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
本店 証券代行部

■ 単元未満株式の買取請求について

単元未満株式をご所有の場合、その単元未満株式を当社が買い取らせていただく制度(買取制度)がございますので、どうぞご利用ください。

特別口座に記録された株式の買取請求については、下記株主名簿管理人(特別口座管理機関)において受付けております。また、証券会社等の口座に記録された株式の買取請求については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

■ 特別口座株式のご売却について

特別口座にて管理されている単元株式を売却されるには、事前に証券会社等の口座を開設し、その後振替手続を行っていただく必要があります。お手続き等の詳細は下記株主名簿管理人(特別口座管理機関)にお問い合わせください。

株主名簿管理人(特別口座管理機関)

みずほ信託銀行株式会社

■ お問合せ先(郵便物送付先)

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324

株主様のご住所・お名前等に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等(いわゆる「外字」)が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。

このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。

株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。



〒261-0001 千葉市美浜区幸町二丁目1番2号

TEL.043-243-2111

<http://www.chibakogyo-bank.co.jp/>

